

2020年1月16日

テュフ ラインランド ジャパン株式会社

【プレスリリース】

**テュフ ラインランド、日立インダストリアルプロダクツに
鉄道車両溶接の EU 安全性規格「EN 15085 認証」を発行**

テュフ ラインランド ジャパン株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:トビアス・シュヴァインフルター)は、本日、TÜV Rheinland Industrie Service GmbH が、株式会社日立インダストリアルプロダクツ(本社:東京都千代田区、取締役社長:小林 圭三)に対し、鉄道車両溶接の EU 安全性規格「EN 15085」の認証を発行したことを発表しました。



認証式の様子

(右より)㈱日立インダストリアルプロダクツ ドライブシステム本部 グローバル鉄道プロジェクト
チーフプロジェクトマネージャー 小池正敏氏
テュフ ラインランド ジャパン㈱ 産業サービス部 部長 中尾征嵩

海外の鉄道市場の動向

UNIFE(欧州鉄道産業連盟)の発表では、世界の鉄道市場は年率 2.7%で成長し、2021 年から 2023 年平均で、1,920 億ユーロ(約 25 兆円)になると予想しています (UNIFE:World Rail Market Study)。この鉄道市場の拡大を主に牽引している理由として、鉄道事業者が、インフラや車両更新し、継続して投資する点をあげています。

車両分野では、ヨーロッパ、アジア太平洋地域での市場拡大や、地下鉄車両においてはアフリカ、中東、アジア太平洋地域、北米での強い成長が期待されています。環境への配慮や、高まるセキュリティ問題、郊外への開発、グローバル化などの課題に対するソリューション案件が、鉄道ビジネスにプラスの影響を与えることも見込まれています。

鉄 道 車 両 溶 接 の EU 安 全 性 規 格 「 EN 15085 認 証 」

日本の鉄道関連企業が、車両に搭載するシステムや部品を海外に輸出する場合、その国・地域の規格に適合させる必要があります。特に欧州市場向けの車両・部品が適合しなければならない規格の中で、鉄道車両溶接に関する安全性規格に、EN 15085 があります。

鉄道車両の生産における溶接は、公共交通機関の安全にとって重要なプロセスです。日本には、鉄道の溶接管理について現時点では厳しい規制がありませんが、EU ほか海外案件の鉄道市場では、EN 15085 に準拠必要な案件があります。この規格の認証を取得することで、その品質基準に即し、溶接技術要件が満たされていることを証明することができます。

【テュフラインランドグループについて】

テュフラインランドは、145年の歴史を持つ世界でもトップクラスの第三者検査機関です。グループの従業員数は全世界で20,000人、年間売上高は20億ユーロにのびます。第三者検査のエキスパートとして、人々の暮らしのあらゆる面で、品質、安全、環境、テクノロジーを支えています。産業用装置や製品、サービスの検査だけでなく、プロジェクト管理や企業のプロセス構築もサポートしています。また幅広い業種、職種について、専門的なトレーニングも実施しています。こうしたサービスは、テュフラインランドの認定ラボや試験設備、教育センターのグローバルネットワークによって支えられています。テュフラインランドは、2006年より国連グローバル・コンパクトのメンバーとして活動しています。ウェブサイト: www.jpn.tuv.com

【報道関係者からのお問い合わせ先】

テュフラインランド ジャパン株式会社
マーケティング部 井田 美穂
E-mail: pr@jpn.tuv.com Tel: 045-470-1860